

## ムーンショット型研究開発事業 よくあるご質問（FAQ）

No.	質問	回答
第2章 公募・選考		
2-1	採択された場合、今回公募を実施している3つの研究開発プロジェクトのうち、どのプロジェクトに参画することになるのでしょうか。	採択された提案者は、1つまたは複数の研究開発プロジェクトに参画し、課題推進者として研究開発を実施していただきます。どのプロジェクトに参画するかは、研究開発内容等に基づき、採択時に決定します。
2-2	配賦される研究開発費はいくらですか。	原則として、500万円（直接経費のみ。間接経費は別途措置）を上限とします。 ただし、選考において特段の必要性が認められれば、上限を超えて研究開発費を措置する場合があります。
2-3	最長1.5年間で研究開発を終了しなくてはならないのでしょうか。	達成目標への到達など、一定の要件が満たされた場合、研究開発を継続することができます。本公募では、新しい操作手法の獲得を目指していることから、多くの研究開発がこの要件をクリアし、研究開発を継続することを期待しています。 詳しくは公募要領別紙2「PDによる方針」をご覧ください。
2-4	当初予定する研究開発期間を超えて研究開発を継続できることになった場合の予算はどうなりますか。	必要な研究開発費を別途措置します。 詳しくは公募要領別紙2「PDによる方針」をご覧ください。
2-5	任期付きの職員（特任教授等）でも応募は可能ですか。	可能です。 ただし、提案者の所属する研究機関とJSTとの間で委託研究契約を締結することができることが条件となります。
2-6	研究開発期間中に定年退職を迎える場合でも応募は可能ですか。	可能です。 ただし、研究開発期間を通して課題推進者に求める要件を満たす（又は見込みがある）ことを示すことが必要です。なお、面接審査の対象となった方には、別途確認を行います。 課題推進者に求める要件については、公募要領3.5及び3.7をご覧ください。
2-7	研究参加者について、人数の制限や何名程度といった想定はありますか。	ありません。 研究開発終了時点での達成目標への到達に必要な十分な人数で提案してください。
2-8	この課題推進者公募で、複数の提案を応募することは可能ですか。	可能です。 それぞれの提案について提案書を作成し、応募を行ってください。ただし、エフォートにご留意ください。
2-9	現在、ムーンショット目標8において、課題推進者として参画しています。今回の課題推進者公募に応募は可能ですか。	提案の内容によります。 現在、ムーンショット目標8の課題推進者として実施している研究開発と同趣旨の内容での応募はできません。 他方、異なる操作手法の提案や、同じ操作手法であったとしても対象とする極端気象が異なったり、研究開発の手法が大きく異なったりする提案であれば、応募は可能です。ただし、エフォートにご留意ください。
2-10	同時期に公募中のムーンショット目標8 PM追加公募に対して、PMまたは課題推進者候補として応募予定です。今回の課題推進者公募に応募は可能ですか。	可能です。 ただし、同趣旨の内容で、両方が採択されることはありません。

## ムーンショット型研究開発事業 よくあるご質問 (FAQ)

No.	質問	回答
2-11	海外研究機関に所属する研究者が応募することは可能ですか。	可能です。 ただし、原則としてJST が提示する内容で、提案者の所属する海外研究機関とJSTの間で、委託研究開発契約を締結する必要があります。 詳しくは、公募要領2.7.2をご覧ください。
2-12	審査を外国語で受けることは可能ですでしょうか。	可能です。 ただし、使用言語は日本語または英語のみとします。提案書を英語で記載する、面接選考時のプレゼンテーションを英語で実施する等、一部または全ての審査を英語で受けることができます。
2-13	公募要領の英語版はありますか。	HPに公募要領の英語版を公開予定です。また、事業概要・募集概要 (Overview of the Moonshot R&D program and the call for proposals (JST) ) ならびにPDによる募集方針説明資料も英語版を公開してまいりますので、ご参照ください。
第3章 採択後の研究開発推進等について		

## ムーンショット型研究開発事業 よくあるご質問 (FAQ)

No.	質問	回答
第4章 応募に際しての注意事項		
第5章 応募方法		
5-1	応募の時点でe-Rad登録は必要ですか。	必要ありません。 なお、本公募ではe-Radを通じた応募受付は行いませんが、研究開発においてe-Radを利用する必要があります。そのため、提案者は採択され研究開発が開始されるまでにe-Radの研究者番号を取得してください。
提案書様式		
6-1	提案書のファイル容量制限はありますか。	アップロードできる提案書の最大容量は5MBです。
6-2	現在受給中の研究費は、提案書様式6(1)応募中の研究費、(2)受け入れ予定の研究費、のどちらに記載すべきでしょうか。	受給中の研究費は、(2)受け入れ予定の研究費へご記載下さい。
6-3	提案書の書式(文字修飾、フォント、行間など)を変えても良いですか。	書式の変更を行っていただいて問題ありません。
6-4	提案書様式の各項目について、記入すべき内容について黒字・青字で指示が記載されていますが、いずれも削除して良いですか。	青字の指示内容については削除してください。黒字の記載内容については削除しないでください。
6-5	PDやJSTに対して、提案する研究開発の内容に関する相談ができますか。	提案内容に関する個別のご相談は、公平性を担保する観点から承っておりません。 制度概要及びPDからの説明について、動画及び資料をHPに順次掲載しますので、ご参照下さい。
6-6	研究開発体制に気象の専門家を含めずに提案することは可能ですか。	可能です。 採択された場合、所属するプロジェクト全体として、気象制御につながるかを検討していただきますので、気象に関わる専門家がなくても構いません。
6-7	気象に係る専門知識に乏しく、提案において、気象に係る具体的な記述が難しいのですが、応募は可能ですか。	可能です。 これまで気象分野で試されてこなかった研究開発については、十分な記述ができない場合もあると想定しています。提案する科学技術についての成熟度や技術的課題、理論上の限界等を踏まえて、達成目標とそれに至る研究開発計画を設定してください。なお、実際に行う研究開発の達成目標および研究開発計画については、選考後にPMと相談して、決定します。
6-8	提案内容は、理論的には大気に変化を起こしうるものですが、気象制御につながるのか不明です。応募できますか。	可能です。 採択された場合、所属するプロジェクト全体として、気象制御につながるかを検討していただきますので、現時点で気象制御につながるか不明でも、応募できます。